

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 1 区分

【発行日】平成 29 年 8 月 10 日 (2017.8.10)

【公表番号】特表 2016-528428 (P2016-528428A)

【公表日】平成 28 年 9 月 15 日 (2016.9.15)

【年通号数】公開・登録公報 2016-055

【出願番号】特願 2016-526683 (P2016-526683)

【国際特許分類】

F 0 4 D 29/62 (2006.01)

F 0 4 D 29/42 (2006.01)

F 0 4 D 17/10 (2006.01)

F 0 1 D 25/00 (2006.01)

F 0 1 D 25/24 (2006.01)

F 0 2 C 7/00 (2006.01)

【 F I 】

F 0 4 D 29/62 C

F 0 4 D 29/42 H

F 0 4 D 17/10

F 0 1 D 25/00 X

F 0 1 D 25/24 D

F 0 1 D 25/24 R

F 0 2 C 7/00 E

F 0 2 C 7/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 7 月 3 日 (2017.7.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

圧縮機を横断する気体の流れ方向の上流縁 (8) および下流縁 (10) を備える、タービンエンジンのケーシング (13、15) に固定されるように意図される遠心圧縮機のカバーにして、前記カバー (1) は複数の開口 (16) およびケーシングに固定するための手段を備えるカバーであって、前記カバーは、上流固定手段 (20) が開口 (16) に対して上流に位置しており、該上流固定手段 (20) は、カバー (1) の前記開口 (16) のうちの少なくとも 1 つを通じて固定具 (22) によってアクセス可能であることを特徴とする、カバー。

【請求項 2】

前記開口 (16) が、圧縮機内の空気取り込みを目的とする、請求項 1 に記載の遠心圧縮機カバー。

【請求項 3】

前記上流固定手段が、外フランジ (14)、および前記フランジを穿通する固定孔 (20) を備え、ユニットが、固定具 (22) によって作動可能な、ネジ (18) およびナット (19) タイプの締め付け手段 (18、19) と協働するように意図されている、請求項 1 または 2 に記載の遠心圧縮機カバー。

【請求項 4】

前記外フランジ（１４）が、前記カバー（１）を完全に包囲する壁を形成する、請求項３に記載の遠心圧縮機カバー。

【請求項５】

各固定孔（２０）が、前記開口（１６）のうちの少なくとも１つを通る１つの締め付けネジ（１８）を受けることができるように構成されている、請求項４に記載の遠心圧縮機カバー。

【請求項６】

前記フランジ（１４）が、カバー（１）の上流縁（８）の付近に延在する、請求項３から５のいずれか一項に記載の遠心圧縮機カバー。

【請求項７】

タービンエンジンのケーシング（１３）に対して保持するための下流フランジ（１２）をさらに備え、このフランジは、前記開口（１６）と下流縁（１０）との間でカバー（１）の外壁に締結されて封止手段を形成する、請求項３から６のいずれか一項に記載の遠心圧縮機カバー。

【請求項８】

請求項３から７のいずれか一項に記載のカバー（１）を有する遠心圧縮機を備えるタービンエンジンであって、該タービンエンジンのケーシング（１５）が、締め付け手段（１８、１９）が締め付けられたときに、カバー（１）の上流フランジ（１４）との封止接続を形成するように配置されている、タービンエンジン。

【請求項９】

タービンエンジンのケーシング（１３、１５）が、前記カバー（１）とともに、カバーの開口（１６）を通る空気を回収する少なくとも１つの閉鎖空間（１７）を形成するように配置されている、請求項８に記載のタービンエンジン。

【請求項１０】

カバー（１）の開口（１６）のうちの少なくともいくつか、および前記空気回収空間（１７）が、空気取り込みシステムに加わるように設計されている、請求項９に記載のタービンエンジン。